

第248回埼玉医科大学病院治験審査委員会の会議の記録の概要

日 時 2013年10月22日(火)16:00~17:00

場 所 埼玉医科大学本部棟2階会議室

出席委員：太田 敏男、荒木 信夫、丸山 敬、加瀬 康弘、鈴木 洋通、織田 弘美、大竹 明、倉持 朗、
野口 静男、小林 大介、杉本 修、高山 ちづ子、出崎 京子、田中 麻紀、箕輪 真嗣

【審議事項】

《新規申請》

◎ KRP-AM1977X 第Ⅱ相臨床試験

被験薬：KRP-AM1977X

治験依頼者：杏林製薬株式会社

審議概要：新規申請に関して、治験責任医師より治験の概要、治験実施計画書、説明文書・同意文書等の申請資料の説明があった。委員より質問事項が提示され、治験責任医師より回答がなされた。それらを含め、当院での治験の実施に関して、審議した。

審議結果：承認

《治験実施の一部変更、重篤な有害事象、安全性情報等に関する報告、実施状況報告等》

◎ ITK-1 第Ⅲ相プラセボ対照二重盲検比較試験 -HLA-A24 陽性のテモゾロミド治療抵抗性神経膠芽腫患者を対象とした ITK-1 投与の有効性と安全性を検証する臨床試験-/第Ⅲ相

被験薬：ITK-1

自ら治験を実施する者：脳神経外科 藤巻 高光

審議概要：モニタリング結果報告書、治験実施状況報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ E2020 の日本人高度アルツハイマー型認知症患者に対する有効性及び安全性を確認する第Ⅲ相臨床試験

被験薬：E2020（ドネペジル塩酸塩）

治験依頼者：エーザイ株式会社

審議概要：契約内容変更、治験実施計画書変更、治験実施状況報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ E2020 の日本人高度アルツハイマー型認知症患者に対する有効性及び安全性を確認する第Ⅲ相臨床試験

被験薬：E2020（ドネペジル塩酸塩）

治験依頼者：エーザイ株式会社

審議概要：契約内容変更、治験実施計画書変更、治験実施状況報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ 乾癬患者を対象とした LY3009104 の第 IIb 相試験

被験薬：LY3009104

治験依頼者：日本イーライリリー株式会社

審議概要：治験薬概要書変更、治験実施状況報告、安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ 軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症患者（MMSE 10-23）を対象としたリバスチグミンパッチのコーリンエステラーゼ阻害薬（ドネペジル、ガランタミン）からの切り替え時の有効性、安全性、忍容性を評価する、24 週間投与、多施設共同、非盲検試験/第IV相

被験薬：リバスチグミンパッチ（リバスチグミン）

試験依頼者：小野薬品工業株式会社

審議概要：試験実施計画書変更、試験実施状況報告、安全性情報等に関する報告に関して、試験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ 血小板減少患者を対象とした S-888711 の第 3 相臨床試験

被験薬：S-888711（lusutrombopag）

治験依頼者：塩野義製薬株式会社

審議概要：治験実施計画書変更、治験実施状況報告に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ 筋萎縮性側索硬化症を対象とした MCI-186 の二重盲検並行群間比較による検証的試験 2（第III相）

被験薬：MCI-186（エダラボン）

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

審議概要：重篤な有害事象に関する報告、安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ C 型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん根治患者を対象とした NIK-333 の第III相試験

被験薬：NIK-333

治験依頼者：興和株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ DSP-1747 の第 2 相試験

被験薬：DSP-1747 (Obeticholic acid)

治験依頼者：大日本住友製薬株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ C 型慢性肝炎患者を対象とした Asunaprevir (BMS-650032) 及び/又は Daclatasvir (BMS-790052) の臨床試験を終了した被験者に対する長期追跡調査試験

被験薬：Asunaprevir (BMS-650032) 及び/又は Daclatasvir (BMS-790052)

治験依頼者：ブリストル・マイヤーズ株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ ジェノタイプ 1b の C 型慢性肝炎未治療患者を対象とした Asunaprevir と Daclatasvir 併用療法のテラプレビル療法に対する第 3 相比較試験及び再燃患者を対象とした有効性と安全性の検討

被験薬：BMS-650032(Asunaprevir) /BMS-790052(Daclatasvir)

治験依頼者：ブリストル・マイヤーズ株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ ジェノタイプ 2 及び 3 の C 型慢性肝炎の未治療被験者を対象に、Peginterferon Lambda-1a /リバビリンの併用療法又は Peginterferon Lambda-1a /リバビリン/Daclatasvir の併用療法の ペグインターフェロン アルファ-2a/リバビリンの併用療法に対する有効性及び安全性を検討する第 3 相ランダム化二重盲検比較試験

被験薬：BMS-914143 (Peginterferon Lambda-1a) /BMS-790052(Daclatasvir)

治験依頼者：ブリストル・マイヤーズ株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ 統合失調症患者を対象とした MP-214 の第 II /III 相試験

被験薬：MP-214 (cariprazine)

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ 統合失調症患者を対象とした MP-214 の継続長期投与試験/ 第 II /III

被験薬：MP-214(cariprazine)

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- ◎ 活動性皮膚病変を有する皮膚エリテマトーデス及び全身性エリテマトーデス患者にヒドロキシクロロキン硫酸塩を投与した時の有効性及び安全性を検討する多施設共同試験/第Ⅲ相

被験薬：Z0188 (hydroxychloroquine)

治験依頼者：サノフィ株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- ◎ 活動性皮膚病変を有する皮膚エリテマトーデス及び全身性エリテマトーデス患者にヒドロキシクロロキン硫酸塩を投与した時の有効性及び安全性を検討する多施設共同試験/第Ⅲ相

被験薬：Z0188 (hydroxychloroquine)

治験依頼者：サノフィ株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- ◎ 乾癬患者を対象とした LY2439821 の第Ⅲ相試験

被験薬：LY2439821 (イクセキズマブ)

治験依頼者：日本イーライリリー株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- ◎ MP-424 の C 型慢性肝炎を対象とした臨床試験 /第Ⅲ相

被験薬：MP-424 (テラプレビル)

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- ◎ 軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症患者 (MMSE 10-20) を対象としたリバスチグミンパッチ (ENA713D/ONO-2540) の異なる 2 種類の漸増方法における忍容性、安全性、及び有効性を評価する、24 週間投与、多施設共同、ランダム化、二重盲検、並行群間比較試験/第Ⅲ相

被験薬：ENA713D/ONO-2540 (リバスチグミン)

治験依頼者：小野薬品工業株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- ◎ ヌーナン症候群の低身長患児を対象とした NN-220 の第 3 相臨床試験

被験薬：NN-220 (ソマトロピン (遺伝子組換え))

治験依頼者：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

◎ 被験薬：BMS-188667（アバタセプト）

治験依頼者：ループス腎炎患者を対象とした BMS-188667（アバタセプト）の第Ⅲ相試験

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

【報告事項】

《治験審査委員会からの質問事項の回答》

◎ 血小板減少患者を対象とした S-888711 の第 3 相臨床試験

被験薬：S-888711（lusutrombopag）

治験依頼者：塩野義製薬株式会社

◎ E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する長期投与試験/第Ⅲ相

被験薬：E0302（メコバラミン）

治験依頼者：エーザイ株式会社

前回の治験審査委員会の質問事項に対して、治験責任医師、治験依頼者より回答書の提出があり、了承された。

《治験に関する変更等》

以下の事項は報告されて了承された。

◎ MP-424 の C 型慢性肝炎を対象とした臨床試験 /第Ⅲ相

被験薬：MP-424（テラプレビル）

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

◎ 統合失調症患者を対象とした MP-214 の第Ⅱ/Ⅲ相試験

被験薬：MP-214（cariprazine）

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

◎ 統合失調症患者を対象とした MP-214 の継続長期投与試験/ 第Ⅱ/Ⅲ

被験薬：MP-214(cariprazine)

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

◎ E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する長期投与試験/第Ⅲ相

被験薬：E0302（メコバラミン）

治験依頼者：エーザイ株式会社

◎ 筋萎縮性側索硬化症を対象とした MCI-186 の二重盲検並行群間比較による検証的試験 2（第Ⅲ相）

被験薬：MCI-186（エダラボン）

治験依頼者：田辺三菱製薬株式会社

審議概要：安全性情報等に関する報告に関して、治験の継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認